

2020年5月21日
日本アルコール産業株式会社
代表取締役社長 嶋津泰基

海外原料基地（韓国ウルサン）の増強について

新型コロナウイルス感染予防に伴うアルコール需要の急速な拡大に対処し、日本アルコール産業株式会社（本社：東京都中央区日本橋小舟町 6-6）は、トレーサブルアルコールの増産に精一杯取り組んでおります。

このような状況を鑑み、原料調達の更なる安定化のため、韓国ウルサンの以下のターミナル会社から原料用タンクを新たに賃借することといたしましたのでお知らせします。

■賃借先：United Terminal Korea Limited

■容 量：9,900KL*2基（計19,800KL）

これにより、海外原料基地としての貯蔵能力は、現行の3万KLから約5万KLへと増強されます。

また、2020年4月1日付けでお知らせしております国内原料タンク（1万2千KL）及び製品タンク（6千KL）の増設も着実に進められており、2022年にこの増設が完了いたしますと、今回の賃借による約2万KLを加え、原料貯蔵用として国内外で約10万KL、国内製品タンクとして約4万KLの貯蔵能力の確保を実現いたします。

日本アルコール産業株式会社は事業法アルコールについて、今後とも、その安定供給に対する重責を担い、事業を推進してまいります。

